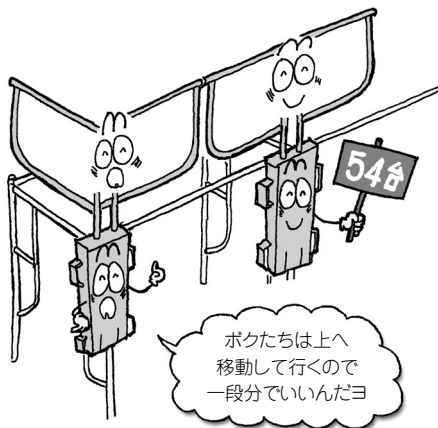


ラックガードシステムのメリット

ラックガードシステム

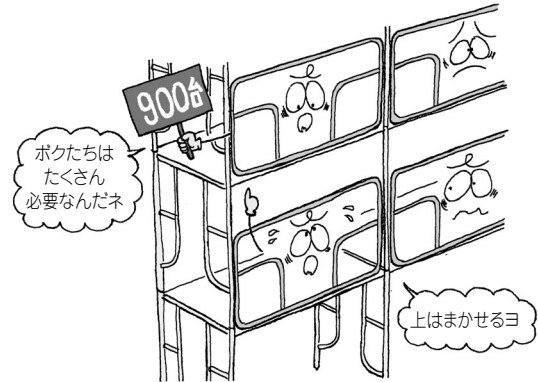
●経済的!

ラックガードシステムは、一段分のラックガード支柱と手摺があれば足場の組立・解体作業が安全に行なえとても経済的です。
例えば、※10階建の建物でわずか54台でOKです。
※足場段数19段×50スパン、足場面積2907㎡(当社比)



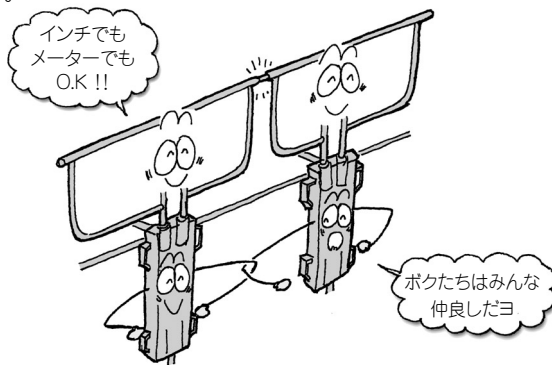
据え置き型先行手摺

据え置き型の手摺は各段数分が必要です。
例えば、ラックガードシステムと同じ条件で10階建の建物であれば、なんと手摺は900台必要となります。(当社比)

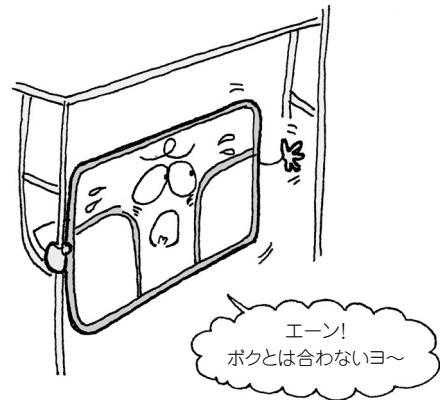


●インチ・メートルも兼用!

ラックガードシステムは、建枠がインチサイズでもメートルサイズでも取付けできます。
また、ラックガード支柱は建枠支柱に沿って上下移動するため、建枠やピッチのズレにも全く関係なくスムーズに上下移動できます。

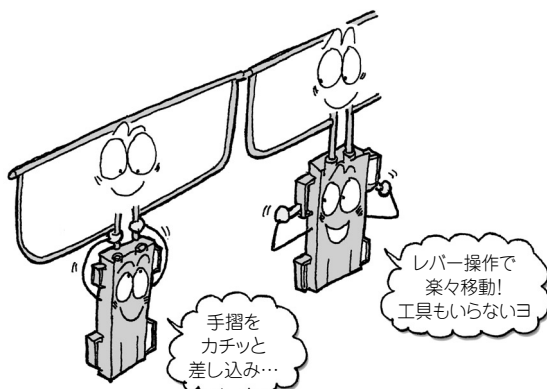


据え置き型の手摺は、インチサイズ、メートルサイズそれぞれに合ったサイズを使用しなければなりません。

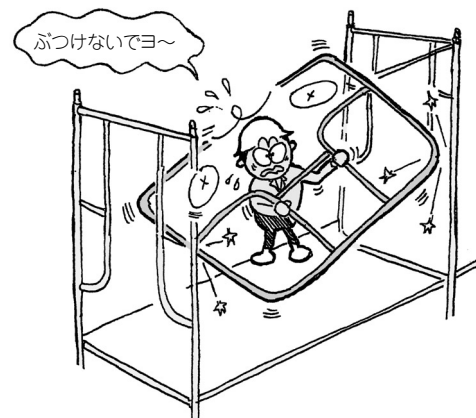


●取付け、操作が簡単・安全!

ラックガードシステムは、一段目の建地に差し込み、支柱に手摺をセットし、レバーを操作して上下移動させるだけです。



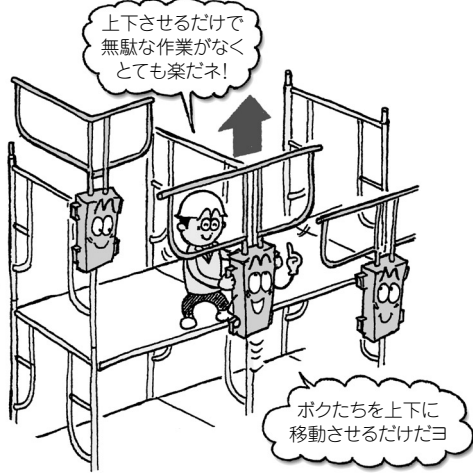
据え置き型の手摺は、各段で組立、各段で解体が必要です。



ラックガードシステム

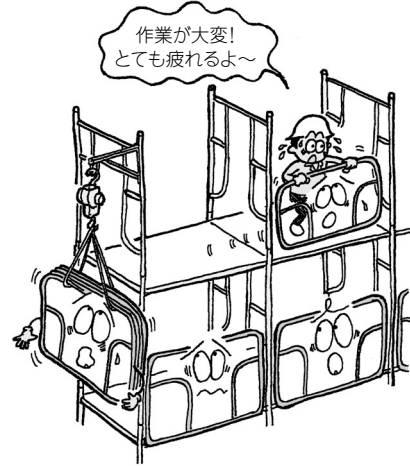
●吊り上げ、吊り下げ、横移動不要!

ラックガードシステムは、手摺と手摺支柱を上下させるだけでOK! 手摺の吊り上げ・横移動・組立て、ばらし・横移動・吊り下げの作業が不要です。



据え置き型先行手摺

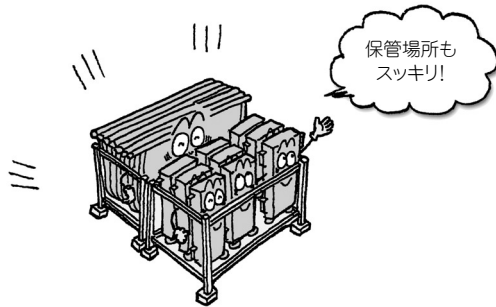
据え置き型の手摺は、手摺の吊り上げ・横移動・組立て、ばらし・横移動・吊り下げの各作業が必要です。



●保管が省スペース!

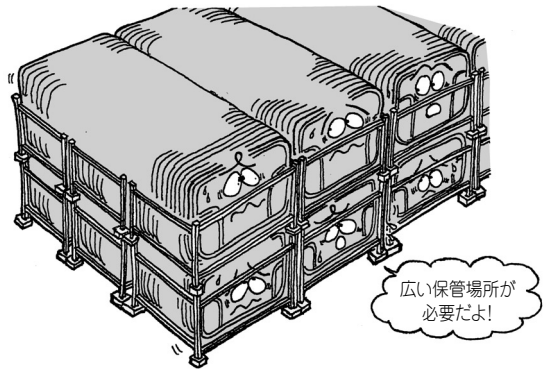
ラックガードシステムは、手摺・支柱とも専用パレットで管理されます。使用台数も少ないので、保管場所が省スペースですっきり保管できます。

例えば、※10階建の建物でわずか54台です。
※足場段数19段×50スパン、足場面積2907㎡(当社比)



据え置き型の手摺は、使用台数が多いので広い保管場所が必要です。

例えば、※10階建の建物で900台必要です。(当社比)
さらに、インチサイズ、メートルサイズを揃える必要がありますから合計1800台の保管場所が必要です。



●運送効率がいい!

ラックガードシステムは、一段目分の数量でオーケー。運送量がとても少なくて済みます。
(参考積載量: 4トン車平 手摺含み標準サイズで216台)



据え置き型の手摺は、各段数ごとの数量が必要です。ですから、運送量も大変多くなります。
(参考積載量: 4トン車平 標準サイズで200~240台)
また、作業所内に仮置きスペースが必要です。

